



謹賀新年



みんなで止めよう温暖化

チーム・マイナス6%

サンコー物産(株)は地球温暖化防止に取り組んでいます

サンコー未来★夢通信

感謝

全員で結果を創る
大樹の経営実践部隊

2010.01. 新年号 vol.2

<http://www.sankobussan.co.jp>

新年ご挨拶

代表取締役社長

細川 康二



あけましておめでとう御座います。旧年中は格別なるご愛顧を賜りまして厚く御礼申し上げます。昨年は変化の一年でありました。アメリカ合衆国ではオバマ大統領が当選し日本では民主党が政権に就きました。経済も激変を経験し、百年に一度の大不況の為、多くの企業が自らを変化させました。また変化できなかった場合、市場から撤退させられる状況に陥った企業もあります。弊社の属する建設・土木関連市場は少子化や公共投資削減、民間設備投資削減と言う、三重苦に陥りましたが、幸いにして弊社は変化をする事ができ百年不況を乗り越えられる可能性を見出す事ができた一年であったと考えています。逆境が弊社の更なる変化を促した一年であったとも言えます。全産業大不況のこの時代に外部要因に原因を求めざる事よりも、外部要因に負けない強い企業体質を創造する事で、お客様に信頼を得られる企業に成長できるよ。今年も全社一丸で取り組む所存です。昨年同様、二〇一〇年も変わらぬお取引を、よろしくお願ひ申し上げます。

3S活動について



関西営業所・近藤義之

当社が3S活動を始めて3年目に入ろうとしています。ここに比ぶ全員の3Sに対する意識が変ったこと。最初は何をどうすれば良いのか全く見当がつかず考えているばかりで、何も出来ませんでした。しかし月日が立つにつれて慣れが出てくると、色々なセッティングの発想や意見が生まれ、変わっていく事務所内や倉庫を見るのが楽しくなってきました。しかし現実には、まだ気が付かず手を付けられない所も有り、今の3Sのする箇所として早急に行きたいと思っております。私共が3Sで大事だと思っております。全員で一致団結して、協力していく心が大切だと思っております。

「淀川清掃に学ぶ会」活動報告



社会貢献活動

会長 細川 三郎

私達は水の都・大阪をもっともとききれいに、水辺を散歩しても気持ちの良い水辺の環境を目指して毎月第一日曜日に掃除ゴミ拾いを行なっています。昨年のある一日の実施を報告致します。

十一月一日(日曜日)天気予報では午後から雨と出ており心配、でも午前中は快晴、気温も高く絶好のゴミ拾い日和のなか多くの皆様に参加されました。一般吉寿屋さんを含め47名、城東工業高校野球部45名、関西大学野球部2名、合計94名でした。集めたゴミは4500ゴミ袋に一般ゴミ



80個、ペットボトル・空き缶・瓶など合わせて42個でした。場所は国道2号線から十三大橋手前までです。時間は約2時間です。

今年二月二十八日は大阪の清掃の会が参加され総勢千人の集まりで大掃除を実施する予定です。

この会計基準の実施を契機に、金融機関からの融資の際や投資家への情報として、適切な環境債務(法的義務のないものも含む有害汚染物質の除去などに必要となる費用)の計上が社会的に要求されるとともに、環境債務情報の透明性が企業の価値を決定する時代が到来すると考えられます。これにより、法令に基づく義務にかかわらず、保有する資産の現状の環境負荷を調査し把握しておくことが必要となってきました。

環境問題



土壌汚染の背景と

環境債務について

顧問 下谷 健壯

土壌汚染は、既に1960年代の高度経済成長期に発生していましたが、当時は汚染の存在が見えにくく必ずしも明確になっていませんでした。しかしながら近年、土壌汚染が判明するケースが急増してきたことを背景に、2002年に「土壌汚染対策法」が制定されるに至りました。そしてまた、企業にとっては、不動産の売買を始めとして、不動産を担保とした融資や不動産の証券化などさまざまな取引が活発化してきたこともあり、所有土地の土壌汚染の可能性は大きな保有リスクとなります。さらに、法律の改正や新法の施行などに伴い各自自治体において、一定規模以上の改変や有害物質取扱い事業の廃止などを契機に調査資料などの提出を義務づけるようになってきています。

環境債務が企業価値を左右する時代が来ます!!

「資産除去債務に関する会計基準」実施を契機として、財団法人財務会計基準機構は、国際会計基準との差異の縮小や投資情報として役立たせることを目的とし2008年に「資産除去債務に関する会計基準(2010年適用)」を公表しました。これは、有形固定資産に含まれる有害汚染物質の除去が法令・契約で不可避な場合この費用を資産除去債務として計上するということです。

この会計基準の実施を契機に、金融機関からの融資の際や投資家への情報として、適切な環境債務(法的義務のないものも含む有害汚染物質の除去などに必要となる費用)の計上が社会的に要求されるとともに、環境債務情報の透明性が企業の価値を決定する時代が到来すると考えられます。これにより、法令に基づく義務にかかわらず、保有する資産の現状の環境負荷を調査し把握しておくことが必要となってきました。

サンコー物産株式会社 大阪市西区南堀江 4-33-29 TEL : 06-6533-1271 FAX : 06-6543-0914

理念

未来を見つめて、慈悲の心と感謝の気持ちで働ける企業を目指します。

未来を見つめて、常に共存共栄の精神で社会に貢献する企業を目指します。



営業所便り

関西第二営業所 所長 平岩健三

私たち関西営業所は、近畿2府4県、北陸地区3県、山陰・中国地区4県（山口県を除く）、四国地区4県、沖縄地区まで幅広く営業活動を展開しております。

昨年9月より『関西は一つ』の合言葉のもと、お客様へのサービス向上を第一に考え、組織や仕組の変更を行ない、自社での配送を見直し、アウトソーシングに切り替える事により、お客様からのご要望に的確にお応えできるよう提案型営業に努めております。

関西営業所として、朝は毎日自主的な清掃から一日が始まります。

3S活動の際には、大がかりなペンキ塗りの作業や荷物の移動なども、力を合わせて全員で行なっております。



人員も多く、超個性派揃いのメンバーで、まだまだ問題の多い営業所ではありますが、これからは『関西は一つ』の合言葉のもと、心を一つにし、お客様から「ありがとう」の言葉を一つでも多く頂くことのできる営業所創りを目指してまいります。

P.S これからは、関西営業所になります。宜しくお願い致します。

～グローバルバッグ講習会を終えて～

関西第一営業所 所長 亀野 弘一

商品勉強会



「夢会」とは夢を語る会のことです。我が社では定期的に各営業所から交代でそれぞれ集まって、新しい商品や仕入先・お客様の情報を交換し合い、全員でその情報を共有します。

いわば「夢会」とは情報共有の場でもあります。夢会で発表するためにサンコーマンは常にアンテナを張り巡らせており、また夢会のためだけではなく「情報」をとっても大事にしています。お客様に新しい商品やサービス・情報をいち早く提供したいという想いもあり、ここでの情報交換も役に立っています。また、社内同士で意見を出し合い、情報提供したものに對しての意見についても、今後PRしていくうえで良いアドバイスになっていくのではと感じます。

「夢会」とは夢を語る会のことです。その場でそれぞれの夢を語る訳ではなく、その夢の達成を胸に、今日も情報収集アンテナを立てて私たちサンコーマンは頑張っています。

夢会の思い 関東営業所 越智 正和



昨年、十二月十日（木）にサンワ・リノテック様主催・サンコー物産（株）共催による「グローバルバッグ講習会」を大阪大学中ノ島センターにおいて開催させていただきました。師走のお忙しい中、四十七名ものご来場を賜わり心より感謝申し上げます。去りにおける安全対策やグローバルバッグの取り扱いまで、実習を交えた講習会で、ご参加下さいました皆様から好評も上々でした。今後定期的な開催させていただきます。節は宜しくお願致します。

メンターシップ経営

我々サンコー物産株式会社は「しあわせメンターズスクール」を応援しています。

次世代を担う子供たちのためにすべての大人が夢を語る未来に向けて!!

あなたも「しあわせメンター」になりませんか

2010年1月「しあわせメンターズスクール」開校いたします

<http://www.cnet-club.com/shiawase/>

2010年
1月9日(土)
開校

子供のしあわせは大人の責任です
大人がしあわせ学を学ぶことが
子供達のしあわせに繋がります

随時 生徒募集中です

学内内容

日常生活の人間関係の中から
人間の心理と行動を深く理解し、
メンターマインドを体得します

身につけたい7つの習慣
傾聴する
受け入れる
励ます
支援する
信頼する
尊敬する
違いを交渉する

共創共育

他人と違えば変えられない
自分と未来は作っていきける

資料請求とお問合せは ritzzy@cnet-club.com 木下まで



しあわせメンターズスクール

〒542-0066 大阪市中央区瓦屋町 2-13-12 石井ビル 3F 8号

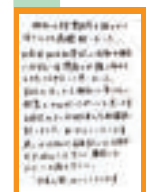
特定非営利活動法人しあわせメンターズスクール

編集後記

サンコー物産（株） 総務部



新年明けましておめでとうございませう。さて、昨年十月に創刊させていただきましたサンコー未来夢通信も今回が2回目の発行となります。前回の創刊号を御一読いただいたお客様から励まし御葉書を頂戴致しました。これに勝るものは無く、当社社員一同心より感謝申し上げます。ありがとうございました。今年からは、我々の社会貢献活動や新商材の紹介などのご案内もさせていただきます。是非、御一読下さいませ。最後に予定ですが、是非、御一読下さいませ。最後に予定ですが、是非、御一読下さいませ。最後に予定ですが、是非、御一読下さいませ。



お客様からのお葉書